

バレンタインコンサート

## 「宇宙のハーモニー ～奇跡の地球に生まれて～」

2月14日はバレンタインデー、世界各地で男女の愛を誓う日とされています。そこで当館では、2013年2月9日に恋人や家族、友人など大切な人との「愛」をテーマにしたコンサートを開催しました。題して、『宇宙のハーモニー ～奇跡の地球に生まれて～』。

### 1. 企画が生まれたのは

2012年は、私が学芸員として働き始めた1年目。5月の金環日食や、全天周映像『オーロラ』制作など、学芸員として多くの学びと経験をさせてもらっていました。ちょうど『オーロラ』の制作が一区切りついた頃、ある1人の友人がきっかけでヴァイオリニストのエルノ・ローザさんに出会いました。エルノさんご自身も宇宙や天文が好きで、当館のプラネタリウムも気に入って下さいました。それまで漠然と、星と音楽をコラボレーションさせた企画を考えていた私は、このタイミングでエルノさんと出会ったことに不思議な縁を感じ、企画のアイデアがどんどん膨らんでいきました。こうして、バレンタインコンサートが生まれたのです。

### 2. コンサート本番

当日17時に通常営業を終えた私達は、慌しく準備を進めていました。プラネタリウムホールは、普通のコンサートホールとは全く異なる構造のため、音がきれいに響きわたりません。しかしそこは音響スタッフの方々、さすがプロ。素早い作業で見事に調整していきます。エルノさんも安心されたようで、ギリギリまでピアニストの山口美樹子さんと演奏を確認されていました。リハーサルが無事終了し、ホールが開場。多くのお客様が入場してきます。そうして、いよいよコンサートが始まりました。



写真1 リハーサル風景

1曲目は、エルノさんによるヴァイオリン・ソロ。その時、ホールの空気がずっと引き締まったような感じがしました。観客がみるみる演奏に引きこまれていったのです。2曲目からは山口さんによるピアノとのデュオ演奏です。お二人の奏でる美しいハーモニーが、全天に映し出される銀河や星雲・星団の映像と溶けあい、まるで本当の宇宙にいるかのようでした。演奏が終わるたび、客席からは”ブラボー！”と称賛の声があがり、大きな拍手で包まれたのでした。



写真2 ホルスト『木星』を演奏



写真3.4 美しく情熱的な演奏で観客を惹きつけてゆく

第1部で5曲熱演していただいた後、私がおのちを引き継ぎ、プラネタリウムで星の一生をめぐるのはなしをさせていただきました。「星にも私達と同じように一生がある。生まれて大人の星として夜空に輝き、そうして最期には死を迎える。星の輝きは永遠のように思えるけれど、実はそうではない。だからこそ、太陽の周りをめぐる地球に生まれた私達は、宇宙の中でほんの刹那の瞬間にいるのだ――」そんなおはなしです。

第2部では、オーロラ映像とともにエルノさんのヴァイオリンが美しく響き渡ります。そして最後は2曲続けてバレンタインにふさわしい愛のあふれるメロディが奏でられ、お客様からいただいた大切な人へのメッセージが次々に映しだされてゆきます。お客様自身もドキドキした瞬間だったのではないのでしょうか。

アンコールで演奏していただいたディニクの「ひばり」では、エルノさんの超絶技巧が遺憾なく発揮され、本物のひばりが生き生きとさえずっているようでした。最後は、大きな称賛の拍手がいつまでもお二人に向けられていました。こうして、コンサートは無事に幕を閉じたのです。

### 3. コンサートを終えて

この記事を書いている頃(2月下旬)、1通のお手紙をいただきました。バレンタインコンサートに来てくださったお客様から、「忘れられない、いい思い出になった」と感謝の気持ちが綴られていました。そのやさしいお心遣いに私のほうこそ感動し、感謝の気持ちでいっぱいになったのです。初めて企画を担当した今回のコンサート、振り返ると反省すべき点がたくさんあります。ぜひ今後につなげていきたいと思います。



写真5 メッセージとともに…